

各地域における取組事例

【ICTを活用した取組】

1

遠隔により健康観察、 学習成果の確認を実施

(長崎県対馬市立中学校)

健康 観察

- 一人一台タブレットが整備されており、持ち帰ったタブレットを通じて、生徒は毎朝、決まった時間に健康状況を報告。
- 健康な場合は「青」、体調不良の場合は「赤」のカードを送信。
- カードが届かない場合や、「赤」のカードが届いた場合は、電話又は家庭訪問をして安否及び健康状況を確認。



学習 成果

- 期間中は1日5時間の家庭学習に取り組むようあらかじめ指導。そのうち、1日4コマ(60分×4)は、学校から課題を送信。
- 生徒は、各教科担任から課された課題に自宅で取り組み、設定時間までにその結果を画像で送信。
- 教科担任はチェックをして、コメントを添えて返信。



グループウェアを 活用した家庭学習支援

- 自宅のPC、タブレット等からアクセスし、毎日更新される学年ごとに出される課題に各家庭で取り組む。
- (千葉大学教育学部附属小学校)

6年生の家庭学習

[3月4日算数](#)
[3月4日家庭科](#)・[3月3日家庭科解答例](#)
[3月3日社会](#)
[3月3日家庭科](#)・[3月2日家庭科解答例](#)
[3月2日家庭科](#) (PDFファイルが開きます。印刷して使いましょう)

【専用ページの例】

パソコンですぐに学習 できる情報一覧を発信

- 休業期間中の子供の家庭学習教材として、すぐに学習できる動画やドリルなどの一覧を公表。
 - 家庭での子供の状況把握や連絡の際に活用できるWeb上の連絡フォームの活用方法を掲載。
- (鹿児島県総合教育センター、
他類似例多数)

【ICTを活用した取組】

1

ICTを活用し 学習・HR・個別指導を実施

- 普段の学校授業時間については学習時間とし、各教科から配布済みの課題に取り組む。
- 毎朝8:40にオンラインで学活。担任が起床・健康確認、連絡等を行う。
- 個々の生徒毎に課題の進捗を確認するオンライン面談を実施する他、毎日定刻に、オンラインで学習の質問を受け付ける学習ルームを実施。
- その他、ランチを持ち寄り、オンラインランチ会、オンライン読書指導（司書が随時相談に乗り、図書を郵送貸出）を実施。
- 接続環境にない家庭には電話等でフォロー。
(福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校)



毎朝「出席確認」 生徒とのつながりを重視

- インターネットを使った学習支援サービスを活用。毎朝担任が9時までに生徒にメッセージを送信。
- 生徒が朝10時までにログインし、担任にメッセージを送ることで、健康状況を含む「出席確認」。
- これまでどおりの時間割表に沿って、提示される15分～50分程度で完結する課題（動画、ウェブテスト）に取り組む。
- 課題の提出もオンラインで行い、提出がなかった生徒には個別に学校から電話等で状況確認。
- 保健体育や芸術、情報、家庭科などは、教員が作成した授業動画などを配信。
- この取組は休校中も学校・教師と生徒がつながり続けることが目的。

(学校法人鳥取家政学園鳥取敬愛高等学校)

ICTを活用した きめ細かな学習支援

- 子供は、家に持ち帰ったタブレットを用い、掲示板に掲載された宿題を参照。宿題を記載したノートを撮影し、教員に送信。
- 疑問点があれば掲示板に書き込み、先生とやりとりし疑問を解消。
(東京都渋谷区小・中学校)